AGO-40 アライメントゲージ イギリス製
取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書には、正しく安全にお使いいただくための説明と注意事項をまとめてあります。
取扱上の重要な点は次の記号「警告」・「禁止」・「注意」が文頭に表示してありますので、
使用する前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
また、使用する時いつでも見られるよう、常に製品と一緒に保管してください。

【記号の説明】

⚠警告 取扱いを誤ると、傷害または物的損害に結びつく可能性があること、更には車両の安全走行に支障をきたす恐れがあり、これに違反した場合、法令・諸規則等で罰せられることがあります。また、自動車メーカーが定める通常の保証が受けられなくなることがあります。

⃠禁止 取扱いを誤ると、故障または誤計測の原因となります。

⚠注意 取扱いを誤ると、正しい計測ができなかったり、故障の原因となります。

【取扱前のご注意】

⚠警告 本製品の取扱は専門知識が必要となるため、これを有しない方はご使用になれません。
また、計測する車両は各々適正数値が異なるため、使用する前に該当車両の製造メーカーが発行する整備解説書等によって予め数値を確認してから計測を行ってください。

⚠警告 本製品は、乗用自動車のアライメント計測を目的として販売するもので、大型トラック等ホイールディスク部が極端にオフセットする車両には使用できないことがあります。

⃠禁止 本製品に付属する部品以外のご使用、または組み付けをしないでください。

⃠禁止 本取扱説明書に記された使用方法以外の分解、または改造をしないで下さい。

⚠注意 本製品は精密機器ですので落下等の衝撃、または水、油、泥などの付着は故障の原因となります。

⚠注意 本製品を使用する前に必ずゼロ調整を行ってください。（ゼロ調整参照）

特徴と仕様諸元

- 自動車一台のスペースでトーイン、トーアウト（角度）を一人で簡単に測定できます。
- ホイールにゲージをセットしてスコープをのぞくと、ミラーによってターゲットプレートが映し出され、角度が測定できます。

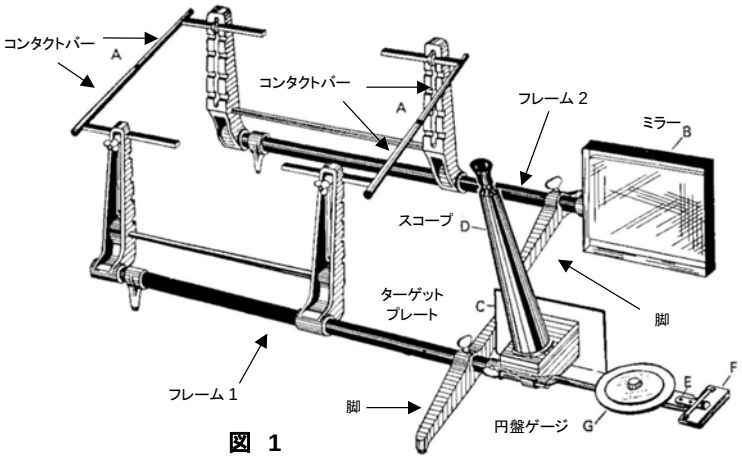


図 1

計測ホイール範囲 ：
8~24 インチ(リム径)
計測最小目盛 ：
0° 10’（10 分）
計測最大値 ：
2° 00’（ 2 度 ）

ゲージの組み立て

① フレームに脚を通し、フレームのピンと脚の切り溝を合わせネジで固定します。
コンタクトバー（A）をフレームの取り付け部（5 段階）に専用ネジで仮止めします。

⃠禁止 フレームの取り付け部（ミゾ）以外にコンタクトバーを組み付けないでください。

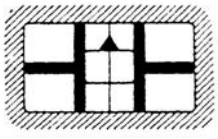


図 2

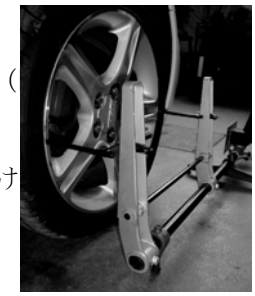
② スコープ(D)に付属のターゲットプレートを三角印(▲)が上にくるように、ビスで取り付けます。(図 2)

③ スコープをフレーム 1 に、ミラーをフレーム 2 に(図 1)のように取り付けます。

⃠禁止　付属する部品以外のご使用、または組み付け・改造をしないでください。

ゼロ調整

① フレーム 1 のコンタクトバーを、測定する車のホイールセンターに近い高さの位置に合わせます。
※コンタクトバー取り付け部 5 段階のミゾの中から、2 本とも同じ高さに取り付けます。



② コンタクトバー先端をホイールリム(ホイール外側)に合わせ専用ネジを締めます。(
専用ネジは工具等を使わず手で締めてください。

コンタクトバーはフレーム取り付け部に対して片側を内側に、もう片側を外側に向け
測定する車のホイールサイズによって向きを変えてください。(図 4 参照)

※コンタクトバーがバランスウェイトに当たる場合は、当たらない所まで車を移動させます。

図 3

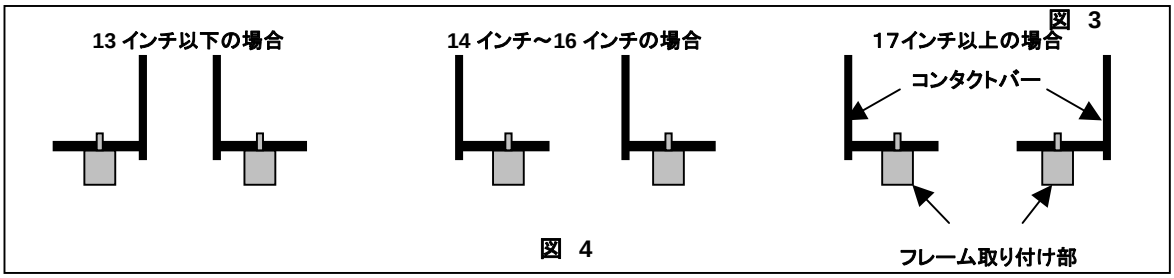


図 4

③ 平坦な場所にフレーム 1 とフレーム 2 を(図 1)のように置き直し、フレーム 2 の
コンタクトバー先端の高さ、幅を合わせます。

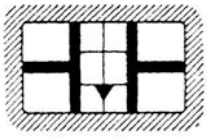


図 5

④ 両フレームのコンタクトバーが平行で、両先端が合っていることを確認してスコープ上側のぞき穴からのぞいたときに、ミラーに反射してターゲットプレートの三角印(図 5)が見えることを確認します。見えない場合は、スコープ及びミラーの取り付けネジを緩め取り付け角度を修正します。

⑤ スコープをのぞきながらスコープの E 部分(図 6)をフレーム 2 の方向に押して、垂直の線が三角印(▼)の真中(頂点)にくるまで動かします。(図 5 参照)
動かしすぎた場合は多めに戻してフレーム 2 の方向に押し合わせます。

⚠注意　スコープの E 部分は同一方向に動かして合わせます。
⚠注意　再度、両コンタクトバーの平行と先端が合っていることを確認します。(図 1 参照)

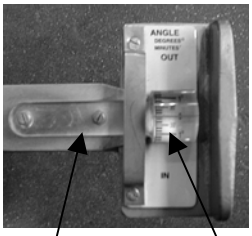


図 6

⑥ スコープ目盛り(F)を真上からみて 0 点を確認します。
ずれている場合はスコープ目盛りの裏側に付いているネジ 2 個を緩め、E 部分が動かないように、目盛りのプレート(白い部分)を動かし 0 点を合わせてネジを締めます。再度スコープをのぞきながら E 部分を動かし、0 点を確認します。

⚠注意　0 点が合うまで、⑤⑥をくりかえします。

トーイン、トーアウト測定(フロント側)

① 平坦な場所で測定する車をまっすぐに前進させ、静かに停車させます。
⚠注意　絶対に後退させて停車しないでください。

② 測定する車の右側にフレーム 1、左側にフレーム 2 を持っていき、コンタクトバー先端を左右測定する車のホイールリムに合わせます。
⚠警告　フレームを移動する際には車両に当たらないよう、また周辺の安全を確認してください。
⚠注意　ゲージ本体に衝撃を与えた場合はゼロ調整からやり直してください。

③ スコープをのぞきながら垂直の線が三角印(▼)の真中(頂点)にくるよう、E 部分をフレーム 2 の方向に押して合わせます。(図 5 参照)

※三角印は小さく見えるので注意してください。
※コンタクトバー先端がホイールリムに合っていることを確認してください。
※スコープの E 部分は、ゼロ調整時と同一方向に動かして合わせます。

図 7 円盤ゲージ

④ スコープの目盛り(F)の数値がトーイン、トーアウトの角度です。

⚠注意 1 目盛り 10 分(0°10')です。

⑤ スコープの円盤部分 G(図 7)が、角度をミリメートルもしくはインチに換算する円盤ゲージです。矢印(↑)を測定した車のタイヤ径の数値に合わせ、④で測定した角度を換算してください。(別紙換算表参照)

⚠注意 円盤ゲージの回転部が《角度》を、固定部外側目盛りが《インチ》を、固定部内側目盛りが《ミリメートル》を表します。

※<u>ホイールが歪んでいたり、精度を高めたい場合には、ホイールが 180° 回転するまで車を前進させて再度測定してください。</u>
<u>測定値が④で測定した数値と違う場合、その平均値が正確な数値になります。</u>

トーイン、トーアウト測定(リア側)

測定する車の片側にフレーム 2、反対側にフレーム 1 をセットし、スコープとミラーが後ろ向きになるようにして、フロント側と同じ手順で測定します。

⚠注意 リアのアライメントを測定する時は、ゲージが後ろ向きになるので、目盛りの示
トーインとトーアウト値は、実際のトー角とは逆になります。

(例)測定トー角 In 0°20' ⇒ 実際トー角 Out 0°20'

保証書

本保証書は、お買い上げ後1年間、下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日から保証期間中、本取扱説明書またはその他の取扱要領に従った正常な使用の元で故障した場合に、下記保証規定に基づき無料修理いたします。
商品と本書をご提示の上、お買い上げ販売店または総発売元にお申し出ください。

但し、保証期間中であっても次の場合は有料修理となります。

- お買い上げ日、お客様名等が記載されていない場合。
- 火災、地震、落雷その他天災による故障の場合。
- 落下など、衝撃による故障または損傷。
- 取扱説明書の記載事項以外の作業による故障。

上記保証は、本製品に対するものであって、本製品使用による作業内容に関しては一切保証できません。

商品名 ： アライメントゲージ

品番 ： I AGO-40 （Serial No. ）

お客様名

ご住所

販売店（※）

お買い上げ日（※）

（※）は販売店がご記入下さい。

- 本商品の保証は、日本国内においてのみ有効です。
- 本書の再発行はいたしかねますので、紛失しないよう大切に保存してください。

総発売元

※補修パーツ及びご不明な点がありましたら販売店、または総発売元へお問い合わせ下さい。

〈発売元〉株式会社テイン

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町995－1
TEL:045-810-5501
FAX:045-810-5502